

龍の子人づくり学習

龍ヶ崎市小中一貫教育

【基本方針】一人一人の夢や希望を育み、生きる力が身に付く教育の推進

【目指す子ども像】『夢』をもち『生きる力』を育む龍の子

○小学校と中学校と地域社会が目指す子ども像を共有し、義務教育9年間における人づくりに系統的に取り組む

○小中一貫教育は4・3・2制のイメージ(前期:小1～小4 中期:小5～中1 後期:中2～中3)

龍の子人づくり学習とは?

「生きる力」を基盤とした社会参画力の育成のための学習

視点Ⅰ 子どもたちの社会参画力の育成

A:確かな学力(探究的な学び STEAM教育の推進)

STEAM教育とは5つの分野を横断的・統合的に学び、実社会の問題発見・解決に生かす能力や、創造的な思考力をもった人材を育成するための教育アプローチ

S:Science(科学) T:Technology(技術) E:Engineering(工学) A:Arts(芸術) M:Mathematics(数学)

B:豊かな人間性、誠実に行動する力(道徳教育、特別活動の充実)

C:健やかな心身、互いを認め協働・共生する力(体力向上、振り返りの充実)

視点Ⅱ 学校と地域社会の連携・協働

A:地域との連携(総合的な学習の時間及び特別活動の充実、コミュニティセンター)

B:各種関係機関との連携(ゲスト・ティーチャーや体験活動、学校運営協議会の推進)

C:地域社会への発信(学校HP)

視点Ⅲ 教育の質の向上

A:学校の教育力(ICT教育の環境整備、探究的な学びに向けた授業改善)

B:家庭の教育力(PTA活動 学校運営協議会)



龍の子人づくり学習

夢を育てる『ゆめ学習』

～自分らしく生きるために～

○探究的な学びや体験活動を通して社会参画力を育成することで

- ・学ぶ意欲を向上させる
- ・望ましい勤労観・職業観を育てる
- ・社会的・職業的な自立を促す

○地域教材の活用する

○職業や進路など「生き方」に関する学習を充実させる

【土台を築く4つの力】

- I 関わる力(協力しながら活動する力)
- II みつめる力(自分の知り主体的に行動する力)
- III 解決する力(自ら課題を見付け解決する力)
- IV 生き抜く力(目標をもち、努力する力)

未来を創る『みらい学習』

～よりよい社会の実現のために～

○よりよい社会の実現のために必要な市民としての資質・能力を育てる

○社会の中で円滑な人間関係を築くために必要な能力を育てる

○児童生徒が主体的に行動する機会を充実させる

○自治意識を向上させる

【可能性を広げる10のスキル】

- ① リーダーシップ
- ② ヒアリング力
- ③ フォロワーシップ
- ④ プレゼンテーション力
- ⑤ ディスカッション力
- ⑥ 企画力
- ⑦ リスクマネジメント力
- ⑧ 交渉力
- ⑨ 集約する力
- ⑩ 運営力

龍の子人づくり学習カリキュラム(2026年改訂版)

		前期				中期			後期	
		小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生
龍の子人づくり学習	ゆめ学習 (キャリア教育)	ねらい 体験活動の充実による積極的関心の形成・発展				自己理解と自己肯定感の獲得			生き方や進路に関する現実的な探索	
	★4つの力をバランスよく身に付ける	【自分らしく生きるために】 地域との関わりを大切にしながら学習に取り組む				地域のために自分ができることを考えながら学習に取り組む			将来を考えながら学習に取り組む	
		みんななかよし つがいでみつけたよ ★関わる力 ★みつめる力	わたしの町はっけん ★関わる力 ★みつめる力	社会科見学 ・市内探検・消防署・警察署・クリーンプラザ・館 ・給食センター・歴史民俗資料館・スーパーマーケット ・廣ヶ崎発見フォトラリー・郷土学習「わたしたちの龍ヶ崎」 ★関わる力 ★みつめる力 ★解決する力		総合的な学習の時間 農業体験 職業人の話を聞く会 地域行事 ボランティア ★関わる力 ★みつめる力 ★解決する力 ★生き抜く力		職業調べ 職業人の話を聞く会 地域貢献活動 地域行事への参加・運営 ★みつめる力★生き抜く力	職場体験 いばらきっ子郷土検定 ★解決する力 ★みつめる力 ★生き抜く力	生き方に関する学習 ★みつめる力 ★生き抜く力
		道徳科 A-1 A-4 B-8 B-9 C-10	道徳科 A-1 A-4 B-6 B-8 C-14	道徳科 A-3 A-4 B-7 B-8 C-13	道徳科 A-4 A-5 B-7 B-9 C-13 C-15	道徳科 A-4 A-5 B-10 B-11 C-14 C-16	道徳科 A-4 A-5 B-7 B-11 C-14 C-16	道徳科 A-3 A-5 B-7 B-9 C-12 C-13	道徳科 A-3 A-5 B-7 B-9 C-12 C-13	道徳科 A-3 A-5 B-7 B-9 C-12 C-13
	グローバル人材の育成 ・世界には、多様な言語や文化があることを知る ・多様な文化の違いに気づき、理解を深める				・多様な文化や価値観の違いについて考え、グローバルな課題について知る			・国際的な視野をもち、グローバルな課題を解決しようとする		
	シビックプライドの醸成「認知・理解」 地域の施設、地域の人(お世話になっている人)を知り、地域の一員であることに自覚をもつ									
	みらい学習 (シティブリック教育)	【よりよい社会(学校)の実現のために】 自治意識の芽生え・自治的活動の経験(学級・学年) 話し合い活動の充実 ◆成功体験の積み重ね ○自分たちで解決したい思いや願いを大切に(切実感) ■自分のことを自分で決める 小さな役割と責任を意識して行動				【よりよい社会(学校)の実現のために】 自治的活動の推進(学年・学校・地域) 話し合い活動の充実 委員会活動・各行事での実行委員(体育的行事、文化的行事、修学旅行等) ◆失敗から学ぶ よりよい方法を探る ○自分から進んで行動する態度を大切に(自発性) ■自分たちで決めたことを実行する態度を大切に行動			【よりよい社会(学校)の実現のために】 自治的活動の推進(学年・学校・地域) 生徒会活動・各行事での実行委員活動 ◆失敗を次につなげる・広げる取組 ○自分から進んで行動する態度(自発性) ■自分たちで決めたことを実行・遂行する態度を大切に	
	☆10のスキルは顔に応じて異なる	【身に付けたいスキル】(10のスキルの基盤をつくる) ☆リーダーシップ ☆ヒアリング力 ☆プレゼンテーション力 等				【身に付けたいスキル(目安)】 ☆リーダーシップ ☆フォロワーシップ ☆ヒアリング力 等			【身に付けたいスキル】 ☆プレゼンテーション力 ☆ディスカッション力 ☆交渉力 ☆企画力 ☆リスクマネジメント ☆集約する力 等	
	◎は必ず実施 ※は学校、学年に応じて	【主な話し合いのテーマ(例)】 「否定しない」「主語は私」「最後まで聞く」 「どんな学年・学級にしたい?」 ◎学級目標について ・学級スローガンをきめよう ・学級のシンボルマークを考えよう				【主な話し合いのテーマ(例)】 つなげる・活かす・振り返る 「どんな学校・学年・学級にしたい?」 ◎学級目標について ・学級・学年スローガンをつくらう			【主な話し合いのテーマ(例)】 深める・汎用性 「どんな学校・学年・学級にしたい?」 ◎学級目標について ・学級スローガン(生徒会) ◎楽しく生活するために ◎学校の決まりの見直し ◎いじめ防止について ◎「地域とともに」 ・○○プロジェクト(委員会) 学校外にも目を向けて	
		ねらい 自分の気持ちを伝え、相手の気持ちに気づく				多様な視点から意見を深めよりよい解決方法を探り出す			自律的に議論を構築し、社会とのつながりを意識した合意形成	
	学びのイメージ	【疑問を出す→調べる→試す→まとめる・発表する】 問いを立てる楽しさを味わう(なぜ?を大切に) ・多様な情報収集の方法を学ぶ(インターネット、図書、インタビュー等) ・多様な方法で成果を表現する グループで協力する(役割分担) ・探究のプロセスを振り返る(何が分かったか、何が難しいか、次は何をしたいか) ・仮説を立てる、予想する。				【課題→調べる→試す→改善策→まとめる・発表する】 ・多様な視点で課題を捉える(教科同士を関連付ける) ・課題解決に向け、具体的な行動に移す ・高度な表現方法に挑戦する(どうすれば伝わるか、構成、話し方) ・論理的な思考力を伸ばす(なぜそう考えたか、その根拠は何か) ・探究のプロセスを自分でデザインする(自分たちで計画し、実行し、振り返る自律的な学び)			【「なぜ?どうして?」を自分で見つける ◎仮説を立てる、予想する ◎失敗しても改善を繰り返しながら最後まで粘り強く取り組む ◎学んだことや成果をまとめて発表する	
	学習ステージ 心構え	学びの基礎をつくる まずはやってみよう・成功体験を積み重ねよう【挑戦】				学びを広げる・自分らしい学び方を見つける 最後まで粘り強く・失敗から学ぼう【継続】			自分らしい学び方を深める 試行錯誤・経験を生かそう【創造】	
		◎「なぜ?どうして?」を自分で見つける ◎仮説を立てる、予想する ◎失敗のもと、諦めずに再チャレンジする ◎学んだことや成果をまとめて発表する				◎「なぜ?どうして?」を自分で見つける ◎仮説を立てる、予想する ◎失敗しても改善を繰り返しながら最後まで粘り強く取り組む ◎学んだことや成果をまとめて発表する			◎「なぜ?どうして?」を自分で見つける ◎仮説を立てる、予想する ◎失敗しても改善を繰り返しながら最後まで粘り強く取り組む ◎学んだことや成果をまとめて発表し、実行する	
		【生活科を中心に】【例】 ①つみき-紙で機やタワーを作ろう(E/M) ②植物や昆虫を観察しよう(S/T/A/M) ③「見つけたよ」をタブレットでとろう(T/A/M) ④おもちゃ作り(S/T/E/A/M) かさぶらろケット、ゴムロケット、ビニルだこ、 おりがみひこうき、かざぐるま、かざわ、どんぐりコマ、 木の葉やジロベエ、ことこ車				【総合・理科・社会・国工を中心に】【例】 ①学校たんけんマップをつくらう(S/T/A/M) ②もっと高く!もっと強く!タワー&ブリッジづくり(S/T/E/A/M) ③光と影・温度のひみつを調べよう(S/T/A/M) ④バランスアート・モビール(S/T/E/A/M)			【例】①ミニ-データサイエンス(S/T/A/M)【算数・総合】 ②コマ振りアニメ入門(S/T/E/A/M)【国工・総合】 ③ロボットカーで自動走行(S/T/E/A/M)【総合】 ④マイクロビットでオルゴールづくり(S/T/E/A/M)【国工・音楽・総合】 ⑤水ロケットで飛距離に挑戦(S/T/E/A/M)【理科・総合】	
		【ICT活用】 ○情報機器を正しく操作できる。(電源を入れる・電源を切る・文字を入力する・保存する) ○学校や家庭で定められたルールを守ってICTが利用できる ○「伝える」と「受け取る」の違いを意識して、簡単な発表や感想を表現できる ○カメラやマイクを操作して、画像と音声を組み合わせた簡単な発表資料が作成できる(プレゼンテーションの基礎) ●インターネットや端末で個人情報を出さないことの大切さ、出たときの危険性を理解できる ※●は情報モラルに関する内容				【情報活用能力】 【生成AIの活用】 ※生成AIは保護者同意の下、各生成AIの利用規約に従って活用する。 ○検索結果を複数見比べ、情報を比較して吟味できる ○調べた情報の出典を記録し、レポートや発表資料に示すことができる ○生成AIで作成したアイデアや文章を、自分で修正・改善・再構成できる ○ICTツールを用いて情報を共有・共同編集し、構成等を工夫して分かりやすさを追求できる ●ネットいじめやフェイクニュースの事例を通じて、発信する内容が他者に与える影響について考え、適切な対応や批判的視点をもてる			【情報活用能力】 ○信頼できるものを選択し、信頼性について説明できる ○要約・翻訳・比較できる ○自分の考えと組み合わせ活用できる ○発信する内容が他者に与える影響について考え、責任ある表現を選択できる ●生成AIのバイアス(偏り)や限界を理解し、生成AIの社会的な利点と課題について、仲間と議論できる	

龍の子人づくり学習を支える質の高い学び

探究的な学び(各教科の学びを活かして)

4つの力全てをバランスよく身に付ける

★関わる力

- ・コミュニケーション
- ・チームワーク
- ・リーダーシップ
- ・感謝、協調、礼儀

【ポイント】

他者の考えや立場を理解し、周囲と協力・協働しながら、自分の役割を果たせるようにしましょう。

★みつめる力

- ・自己管理
- ・モチベーション維持
- ・適正、個性、自主性

【ポイント】

自身の可能性を肯定的に捉え、主体的に行動することで、自己成長を促しましょう。

龍の子人づくり学習

4つの力

★解決する力

- ・計画性、創造性
- ・課題発見、遂行
- ・適応、協働、発信

【ポイント】

仕事や生活の中で直面する課題を発見し、その原因を分析して、解決策を導き出せるようにしましょう。

★生き抜く力

- ・自己分析、情報収集
- ・意思決定
- ・継続、奉仕、キャリアプランニング

【ポイント】

自己分析や情報収集、意思決定を経て、具体的な行動につなげられる場を設定しましょう。

10のスキルは個に応じて異なる

☆リーダーシップ

- ・メンバーの能力や、やる気を引き出す
- ・困難な状況でも、進むべき方向を示す
- ・意思決定し、責任をもって行動できる

☆ヒアリング力

- ・相手の話を傾聴し、理解することができる
- ・話しやすい雰囲気を作ることができる
- ・相手の立場や感情を理解できる

☆フォロワーシップ力

- ・リーダーの意をくんで行動できる
- ・時には批判的な視点でチェックする
- ・自分の役割を自覚し、全体の成功を自分事として捉えることができる

☆プレゼンテーション力

- ・自分の考えや情報を分かりやすく伝える
- ・共感や行動を促すことができる
- ・非言語能力(ジェスチャー、アイコンタクト)

☆ディスカッション力

- ・筋道を立てて論理的に話すことができる
- ・自分とは異なる意見を受け入れ、よりよい結論を導くことができる

☆企画力

- ・柔軟な思考で解決策を考えられる
- ・生み出したアイデアを具体的な計画に落とし込むことができる

☆リスクマネジメント力

- ・危険を予測し、対策を練ることができる
- ・万が一に備え、具体的な対策を練ることができる

☆交渉力

- ・事前準備、ゴールの明確化、合意形成
- ・感情をコントロールしたコミュニケーション
- ・ファシリテーションを大切にする

☆集約する力

- ・建設的に意見をまとめることができる
- ・目標設定のために、効率的な形で整理することができる

☆運営力

- ・集団を効率的に調整することができる
- ・具体的な計画を策定し、実行に移せる
- ・諦めない、失敗を生かす(レジリエンス)